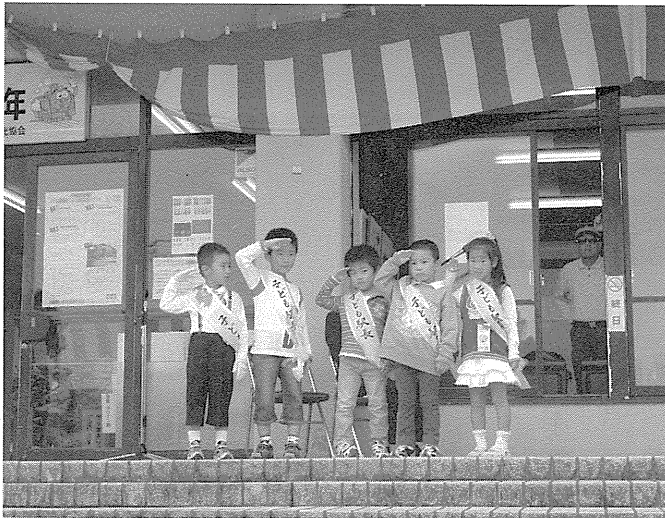


# 朝日町 議会だより

第67号  
平成22年11月1日



泊 駅



PHOTO

泊駅開業100周年  
記念イベント

第4回議会臨時会 正・副議長ほか議会組織決定 2～3

## 第5回 議 会 定例会

|                       |       |
|-----------------------|-------|
| ■ 21年度決算、条例制定、第3回臨時会等 | 4～5   |
| ■ 代表質問                | 6～10  |
| ■ 一般質問                | 11～14 |
| ■ 常任委員長報告             | 15    |
| ■ 議会日誌 7月～9月、編集後記     | 16    |

# 朝日町議会組織決定!!

去る8月8日に行われた朝日町議会選挙の結果を受けて、平成22年第4回議会臨時会が8月30日に開催され、議長、副議長の選挙などが行われ、議会組織が次のように決まりました。

また、人事案件が提案され、原案どおり同意されました。



副議長

住所  
氏名 朝日町境1346番地  
水島 友



議長

住所  
氏名 朝日町南保5206番地  
大森 憲平

## 議長就任あいさつ

議長 大森 憲平

このたび、朝日町議会議員選挙後の第4回議会臨時会において、議員各位の推挙により、議長の要職を拝命し、身に余る光栄であるとともに、その重責を痛感している次第であります。

さて、経済不況から脱しきれず、国、地方財政ともに厳しさを増すなか、当町においては、人口減少・少子高齢化対策、あさひ総合病院の医師・看護師確保対策、地域活性化など課題は山積しております。

一方、今年4月の過疎地域の指定や第4次朝日町総合計画後期基本計画が来年度からスタートするなど、この先数年は町の発展にとって節目となる年でもあります。

また、従来のひも付き補助金から地方が自由に使える一括交付金への衣替えが検討されているなど、国は地域主権を推進し、地方自治体には自らの責任と判断のもと、地域の個性を生かしたまちづくりが求められております。

このようななか、議会としては町民の皆さまの声を町政に反映させることはもとより、町民の立場に立つて町政運営を監視し、町当局とは車の両輪として、町政の発展に議員一丸となって努力してまいる所存でございます。

今後とも、皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、就任のあいさつといたします。

## 総務産業常任委員会

◎蓬澤 博 ○西岡 良則

稲村 功 大森 憲平

笹原 靖直

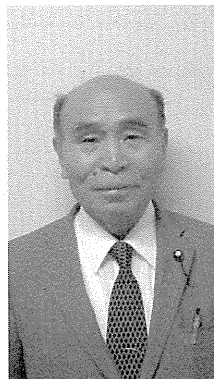
(◎委員長 ○副委員長)



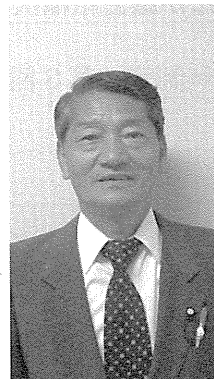
笹原委員



大森委員



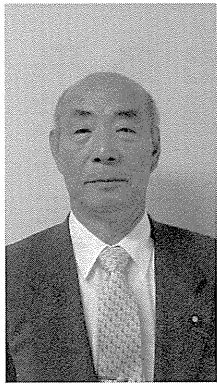
稲村委員



西岡副委員長



蓬澤委員長



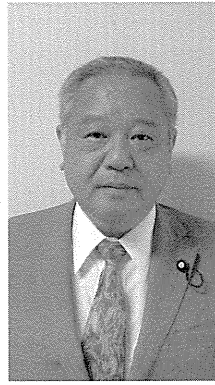
水間委員



水野委員



水島委員



加藤副委員長



長崎委員長

民生教育常任委員会

◎長崎 智子 ○加藤 好進

水島 一友 水野 仁士

水間 秀雄

(◎委員長 ○副委員長)

議会運営委員会

◎水島 一友 ○稲村 功

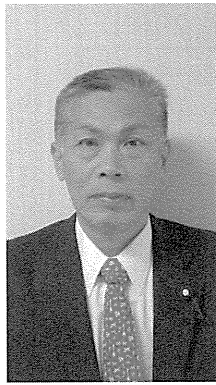
蓬澤 博 笹原 靖直

大森 憲平(オブザーバー)

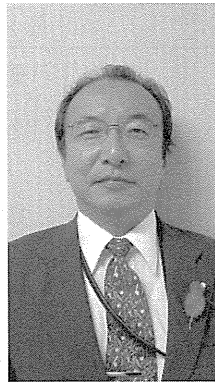
(◎委員長 ○副委員長)



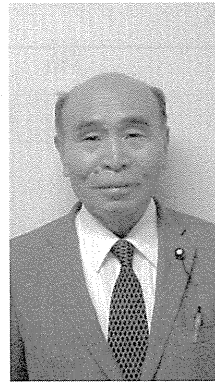
大森議長



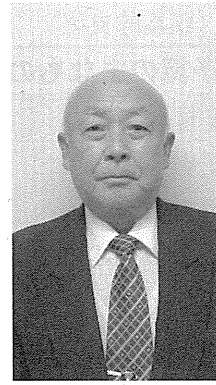
笹原委員



蓬澤委員



稲村副委員長



水島委員長

日本海関東首都圏連絡道路  
構想対策特別委員会

◎大森 憲平 ○水島 一友

稲村 功 長崎 智子

水野 仁士 蓬澤 博

西岡 良則 笹原 靖直

水間 秀雄 加藤 好進

並行在来線等対策特別委員会

◎大森 憲平 ○水島 一友

稲村 功 長崎 智子

水野 仁士 蓬澤 博

西岡 良則 笹原 靖直

水間 秀雄 加藤 好進

新川広域圏事務組合議会議員

大森 憲平 西岡 良則

新川地域介護保険組合議会議員

大森 憲平 加藤 好進

富山県後期高齢者医療広域  
連合議会議員

大森 憲平

人事案件

○朝日町監査委員を選任するため  
同意を求める件

朝日町山崎2153番地

水野仁士氏(62歳)の選任に  
同意

お知らせ

朝日町議会議員の会派

●創政会(4名)

代表 水島 一友

水島 一友 大森 憲平

長崎 智子 水野 仁士

●グループ22(4名)

代表 蓬澤 博

蓬澤 博 西岡 良則

笹原 靖直 加藤 好進

●日本共産党(2名)

代表 稲村 功

稲村 功 水間 秀雄

**平成21年度決算・平成22年度補正予算・  
条例制定・条例改正・人事案件・議員提  
出議案など23議案を認定・可決・同意**

22年第5回議会定例会は、9月14日から9月27日までの14日間にわたり開催され、平成21年度決算や平成22年度の補正予算、条例の制定・改正案、副町長及び教育委員会委員の人事案件などが審議され、原案のとおり認定・可決・同意されました。  
また、議員提出議案が5件提案され、可決されました。

| 21年度決算           |  | 千円単位：切捨て       |
|------------------|--|----------------|
| 一般会計（支出済額）       |  | 78億6,965万円     |
| 特別会計（支出済額）       |  | 61億5,426万円     |
| 国民健康保険会計         |  | 15億2,413万円     |
| 老人保健医療事業会計       |  | 176万円          |
| 後期高齢者医療事業会計      |  | 3億8,980万円      |
| 簡易水道会計           |  | 3,792万円        |
| 下水道会計            |  | 12億8,380万円     |
| 南保外二地区用水会計       |  | 629万円          |
| 奨学会会計            |  | 112万円          |
| 病院事業会計（収益的支出）    |  | 29億942万円       |
| 22年度補正予算の主なもの    |  | 千円単位：切捨て       |
| 一般会計（補正2号）       |  | 補正総額 1億7,048万円 |
| 携帯型無線機更新         |  | 113万円          |
| パークゴルフ場整備事業      |  | 251万円          |
| 公園遊具等整備事業        |  | 321万円          |
| 感染症対策機器緊急整備事業    |  | 131万円          |
| 旧保育所解体撤去・遊具移設工事  |  | 1,183万円        |
| 農業経営体法人化支援事業     |  | 45万円           |
| 地域農業担い手育成推進事業    |  | 810万円          |
| 県営土地改良事業         |  | 950万円          |
| 農免農道整備事業         |  | 663万円          |
| 屋外広告物設置状況調査事業    |  | 179万円          |
| 朝日中学校改築外構Ⅰ期工事    |  | 9,296万円        |
| 朝日中学校改築備品購入費     |  | 2,245万円        |
| 町道城山宮崎公園線災害復旧工事  |  | 200万円          |
| 特別会計             |  | 補正総額 304万円     |
| 国民健康保険会計（補正1号）   |  | 271万円          |
| 老人保険医療事業会計（補正1号） |  | 33万円           |



10月13日にオープンした「あさひヒスイ海岸パークゴルフ場」

○あさひヒスイ海岸パークゴルフ場設置条例制定の件

**条  
例  
制  
定**

## 条例改正

- 朝日町ひとり親家庭等の医療費助成に関する条例一部改正の件
- 朝日町火災予防条例一部改正の件

## 人事案件

- 朝日町副町長を選任するため同意を求める件

朝日町笹川667番地  
竹内寿実氏（58歳）の選任に同意

- 朝日町教育委員会の委員を任命するため同意を求める件

朝日町平柳153番地12  
永井孝之氏（59歳）の任命に同意

- 朝日町農業委員会の委員推薦の件

朝日町草野1323番地  
笹原靖直氏（55歳）を推薦

## 議員提出議案

- 新たな経済対策を求める意見書
- 地方分権に対応する地方議会の確立を求める意見書
- 米価下落への緊急対策を求める意見書

- 口蹄疫被害の復興支援と再発防止を求める意見書
- 歯科医療の充実を求める意見書

## 請願・陳情

- ◆採択となったもの
- 新たな経済対策を求める請願
- 地方分権に対応する地方議会の確立を求める請願
- 米価下落への緊急対策を求める請願
- 口蹄疫被害の復興支援と再発防止を求める請願
- 「歯科医療の充実を求める意見書」の議会採択にかかる陳情



## 第3回議会臨時会

8月18日に第3回議会臨時会が開催され、上程された朝日中学校改築工事にかかる3件の案件が審議され、原案のとおり可決されました。

- 朝日町立朝日中学校改築工事建築主体工事請負契約締結に関する件
- 朝日町立朝日中学校改築工事電気設備工事請負契約締結に関する件
- 朝日町立朝日中学校改築工事機械設備工事請負契約締結に関する件



朝日中学校完成予想図

## 自治振興会と行政の関係について

蓬澤 博（グループ22）

**質問** 行政の運営に自治振興会はどのように携わっているのか。

**答弁 町長** 自治振興会では地域の連帯感を深める中で、行政ではなかなか気づかない問題や課題を把握し、地域で共通認識していただくとともに、その解決に向け、行政への施策提言という大きな役割を果たしていただいている。

町民の声と英知が町の発展につながると確信しており、住民懇談会を町内10地区・13会場で開催することとしている。

**再質問** 「町民の声」とは、自治振興会からの要望活動の補完的な位置付けと理解してよいのか。

**再答弁 町長** 自治振興会の要望は地域で練られたものであるが、住民懇談会の中で出されるのは地域の問題だけではないかもしれない。例えば、町全体の大きな課題について意見・提案があるかもしれない。ただ、懇談会の中で出された全てを実行するとは考えていない。



五箇庄地区住民懇談会

**再々質問** 住民総参加という形の自治振興会を大きく巻き込んだ協働活動ということであれば、従来にまして各自治振興会に時間的・金銭的な助成をお願いしたい。

## 入札制度について

**質問** 町長は、可能な限り町内業者が仕事をできるように努めると発言しているが、朝日中学校改築工事の入札が従来どおりの方式で行われたのはなぜか。また、なぜこの時期に大きな契約額、長い期間を要する工事を入札・発注するのか。入札制度は見直すのか。

**答弁 竹内総務部長** 朝日中学校改築工事は22年度に交付金を申請をする予定であったが、国の政権交代もあり、22年度に改築事業を予定しているのであれば21年度に前倒しして申請するようにと国から指導があり、21年度に補助申請し、採択されたものである。国の補助制度上、21年度事業については現時点で工事からかなければ国からの交付金の交付に支障が生じるため、入札を行った。

朝日町に適した入札方法のあり方について検討を進めたい。

**再質問** 入札制度の見直しはいつ頃までになされる予定か。

**再答弁 町長** 見直しの時期については、新年度に向けて進めていきたい。

**再々質問** 事業者の皆さんに周知徹底を図る時間が必要であり、これを考慮すると、1月中・下旬に成案を得る必要があると思うが。

**再々答弁 町長** そのような趣旨を踏まえつつ、鋭意進めたい。

## あさひ総合病院について

**質問** ①医師・看護師不足解消のためどのような要請活動をどこに対してしたのか。

②「新たな視点から必要に応じた施策」とは具体的に。

③看護師不足については、どのような対策を講じてきたのか、また今後講じるのか。

**答弁 町長** ①7月、8月に富山大学医学部の各医局を訪問し、医師派遣の協力方をお願いしたが、医局自体に医師不足があり、状況の厳しさを痛感している。7月23日に石井県知事と面談し、自治医科大学医師の派遣継続をお願いした。8月には県選出国会議員に対し、地方の医師不足の深刻さを訴えて、医師充足への働きかけをお

願いました。

②一つは公立病院同士の連携、もう一つは町内の開業医の皆さんとの連携が必要であると考えている。

現在、派遣元の医局自体に医者が不足しており、富山大学との友好な関係を図りながら、よその大学や病院の医師を招く努力もしなければならぬ。そのためにはあ

さひ総合病院の将来構想も示しながら、熱意を持って訴えることが必要である。高度医療は確かに必要だが、もともと地域医療にシフトを置いた病院になることが町民の健康と命を守ることになるのではないのかと考えている。

③看護師の確保については、看護師養成機関への求人活動、県看護研修センターによる看護職員ガイダンスへの参加、ハローワークでの公募等、多方面への募集活動を行っている。また、看護学生への修学資金貸与制度の創設を検討するよう病院に指示をするともに、認定・専門看護師資格取得への支援や病院内保育所の設置についても検討したい。

**再質問** 医師・看護師不足の解消には労働条件の改善が必要だと思うが。



医師の派遣元の富山大学付属病院

**再答弁** 町長

そのとおりであると思う。町民の皆さんにも実態を知り、理解していただきたい。診療科目によつては24時間勤務体制に近い状況となっており、医師・看護師の勤務条件の改善については真剣に考えなければならない問題である。

## 町税収納に関する現状と 今後の対策、納税督促について

長崎 智子（創政会代表）

**質問**

①町民税と固定資産税及び軽自動車税について、法人・個人別に町全体の収納率等の状況はどのようなになっているか。

②滞納している個人や法人に対して、督促状や個別訪問など滞納を少なくしようと鋭意努力されているが、加えて、差し押さえなどの法的措置をとって滞納者の一掃に努めるべきと考えるが。

**答弁** 竹内総務部長

①平成21年度の町税の収納状況は、一般会計の現年度は、調定額16億1,275万9,490円に対して、収入済額15億6,031万7,163円であり、収納率は96.75%、滞納繰越分は、調定額2億424万5,763円に対し、収入済額2,597万8,059円であり、収納率は12.96%である。

滞納者数及び滞納額については、個人町民税が383人、5,161万2,838円、法人町民税が5社、92万500円、固定資産税が258人、1億6,692万6,873円、軽自動車税が155人、198万2,900円となっている。

特別会計の国民健康保険税の現年度は、調定額3億2,154万2,700円に対し、収入済額は3億741万3,300円であり、

収納率は95.61%、滞納繰越分は、調定額7,242万4,455円に対し、収入済額は900万1,900円であり、収納率は12.89%である。

収納率の向上や滞納額の解消は、町の財政運営及び税の平等性の確保にとつて極めて重大な、喫緊な課題であり、また、税の滞納は多くの善良な納税者の公平性を揺るがし、納税意識・モラルの崩壊を招く要因であるなど、厳格にその対策に取り組む必要があると考えている。

当町では、地方税法並びに町の税条例に従い、税目ごとに納期限後20日以内に未納者に対し督促状を発送し、その後、電話催告や文書催告、臨戸訪問等による徴収や分納などの納税誓約書の取り交わしなどを行い、収納率の向上を図っている。

しかしながら、再三の催告に応じない滞納者については、財産調査を実施し、差し押さえ予告を発送後、預金等財産の差し押さえを行い、平成20年度より2年間で16名、約315万円の滞納処分を行ったところである。

今後とも滞納者の実態把握に努め、特に常習者や高額滞納者に対しては、県総合県税事務所と連携を図りながら、効果的な滞納処分や継続的な徴収対策に鋭意取り組んでまいりたい。

## あさひ鉄工団地における 土地取得にかかる件について

### 質問

①計画されていた企業誘致のその後の経緯の説明を求める。  
②ほかの用途に使用できるのであれば、町内外に広報し早期決着を図るべきではないか。

### 答弁 町長

①平成20年11月、草野地内において行った造成工事については、自動車関係の部品を製造する工場の増設を目的に行ったもので、工場の増設計画に伴い、隣接する3名の地権者のご協力をいただき、全体敷地面積1万696㎡を購入、造成を行った。

当初は平成22年春の操業を予定していたが、世界的金融危機、自

動車産業の不況により、その事業者は、今は新たな設備投資を行う時期ではないと判断をなされ、町に対し、昨年7月、工場の増設計画の延期の申し出をされた。

現在は、既存工場内のスペースを活用し製造を行っており、景気の回復のもと新たな設備投資のできる環境になるよう願っている。

②町としては、地権者のご理解により造成した貴重な土地であり、工場が増設されるまで、優良な資産として管理を行っていきたい。

### 再質問

地権者は仮契約を終え、土地を提供したが、その後会社から延期の申し出がなされ、本契約はなされていないのではないかと。

### 再答弁

大井産業部長 土地提供者とは仮契約を結び、議会の承認後に、本契約に移行したという経緯である。

### 再々質問

土地の売買契約を締結するとき覚書があり、契約の条件として町道月山線の融雪施設の整備があったと伺っている。十何年前から町内が要望していることであり、そういう条件で購入したのなら、早期に実施すべきだと思うが。

### 再々答弁

大井産業部長 融雪施設の整備については、用地交渉の者が、そこで「わかりました」

とは答えていないはずである。人家が連たんしているとか、水はどこから取るとか、そういう調査を行って町の基準に合えば、それは当然将来的にはやらなければならぬ事業だとは思いますが、土地の地権者の要請なのか、町内会、地区の要請なのか、そのあたりもはっきりしていないので、誰が用地交渉に行っても、「わかりました」とか「やります」とは答えていない。

### 再々質問

覚書には、「町道月山線の道路消雪施設整備について早期に事業着工できるように努力する」と書いている。県道から町道になっており融雪工事がそう簡単にできないという趣旨を地権者に話してほしい。何年後かにできる見込みはあるのか。

### 再々答弁

大井産業部長 融雪装置の設置にはいろいろな基準があり、人家の連たん率とか、機械除雪ではできない理由、そして一番大きな問題は水源と水量である。そのあたりを調査して、基準に合えば、それは当然できる路線であり、もちろん県道から町道に移行した路線であることも十分承知している。



企業誘致のため造成された工場用地（草野地内）

国道8号の南側は、人家が密集しており、融雪装置は既についている。今言われるのは、国道8号から北側の、多分J.Rの踏切付近までのことと思うが、既存の水源で水量が足りるかなどは、調査しなければわからないので、今すぐできることもできないとも言えない状況である。

## 農業問題について

稲村 功（日本共産党代表）

### 質問

出荷契約米の概算金が、昨年は1俵1万3,000円であったが、今年は2,000円少ない1万1,000円に暴落し、その主たる要因は、米戸別所得補償モデル事業によるものと考えるが、どう考えているか。

### 答弁 大井産業部長

今年度の米戸別所得補償制度は、生産コストが販売価格を上回る米に対し、差額の赤字部分を補てんすることによって、農家の所得を安定させようとするものである。

具体的には、生産調整に従って作付けした生産者に対して、定額部分として、標準的な生産コストと販売価格の差額相当分、10アール当たり1万5,000円を一律に交付し、さらに、当年産の販売価格が過去3年平均を下回った場合、その差額をもとに、変動部分の交付単価を定額部分に上乗せして交付するものである。

国内の需給状況は、米の消費量が年々減少し、平成21年産までの米の在庫数量は300万トン余りとなっ

ている。本年産米の生産量は、モデル事業の効果もあり、概ね計画どおりの見込みだが、前年産までの在庫分が過剰供給量となり、米価の下落に影響している。そのため、平成22年産出荷契約米の概算金は、取引価格の低下の影響を受けて、昨年産米に比べ低い金額になっていると考えられる。

### 再質問

ことは熱帯夜が非常に多く、コシヒカリには致命的なダメージであり、質の悪化、収量の減少、農家の方は結果を見るまでもなく、非常にショックを受けている。これについては農家や町だけでは対応し切れないと思うので、国や県に対策を要望しなければと農家の人たちは言っている。そういうことも加味し、今後の農政への寄与について、どう考えているのか。

### 再答弁 大井産業部長

9月7

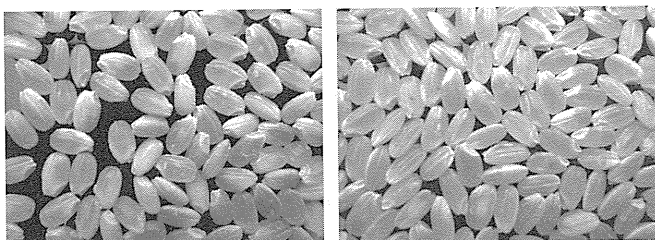
日に行われた、みな穂農協管内の初検査では、早稲については標準並みの等級並びに数量があったよ

うであるが、朝日町では早稲の作付面積が非常に少なく、コシヒカリが主流である。私も一昨日刈り取りして感じており、収量は2割ぐらい落ちるのかなと危惧している。また、もみをとってみると、当初、県の指導員や農協営農指導員が心配していたカメムシの多発とか青米はほとんどないが、米の白い状態、乳白が例年より多く見られた。今年の夏は、専門的な指導者も悩ませるような異常気象であったと痛感した。

コメの作柄について、きちんとした結果が出れば、今後の方針など対応について、国の方針、最後

は農家の

皆さんにとつて何が有利であるかという施策を探していきたい、あるいは展開していきたいと考える。



乳白の多い22年産コシヒカリ（右は1等米）

## あさひ総合病院について

### 質問

あさひ総合病院は、朝日町だけでなく、県東部、さらには、県境を越えて、糸魚川市の一部地域の住民が利用している地域医療の拠点病院としてその役割を果たしている。厚労省や県には、あさひ総合病院が果たしている役割を正しく評価していただき、それにふさわしい支援をしてもらうことが必要ではないか。また、救急病院としての体制確保も急がねばならない課題であり、町長はこれらのことを公約として掲げていたが、どのように考えているのか。

### 答弁 町長

あさひ総合病院は、新川医療圏域内の基幹病院として1万4,000人余りの朝日町住民と、入善町、黒部市、糸魚川市の一部の住民、合わせて約4万人に公平・公正な医療を提供しているところである。

近年の医師不足により、救急医療体制を制限しているが、一日も早く医師の確保に努めるとともに、あさひ総合病院が住民の健康を守り、質の高い医療を提供することによって、多く住民から愛され信頼される病院となるよう、今後も努力をする。

## 五箇庄小学校問題について

### 質問

まちづくりは住民合意が基本で、直ちに子どもたちの安全のために、木造校舎で耐震補強に取りかかるべき。木造校舎の緊急な耐震補強と地元産材の活用は、今や文部科学省の常識となっている。今なら国の補助率も高く、町の持ち出しも1割ほどで済むと言われている。また、地場産材を用いれば、今日重視されている「木の文化の再認識を」との世界の重大命題にも叶い、町の未来の産業に大きな展望を切り開くことになる。

### 答弁 町長

五箇庄小学校問題については、町長選挙後に「住民の合意なくして統合はあり得ない。耐震補強や改築についても住民や職員との話し合いの中で結論を出していく」と述べてきた。

今でも同じ考えであるが、住民の合意は、五箇庄地区だけでなく、当然町全体の合意が必要であると考えており、どう住民合意を形成していくかが、与えられた今後の課題と考えている。

一方学校施設は児童・生徒が一日の大半を過ごす活動の場であり、その安全性の確保は、極めて重要であると考えている。

五箇庄小学校は、大正年間に建築された部分もあり、また、老朽化が大変進んでいる校舎でもあることから、設置者としてはこの問題をいつまでも放置することはできないと考えている。

今までの考え方や方向に縛られることなく、改めて町全体の教育環境のあり方について議論をしていく必要があると思っており、できるだけ早く教育委員会で検討してもらいたいと考えている。

木造校舎については、国の、「学校施設における木材使用の促進に関する通知」が平成20年3月に出されており、木の持つすぐれた特性や子どもたちの心身の成長の場として、その効果や意義が強く認識されていることや、新たな学校施設整備に木材の使用を期待していること、鉄筋コンクリート造り等で整備する場合でも、内装を木質化することなどといった内容である。

町としては、このたび発注した朝日中学校改築工事の中で、各教室の腰壁に県産材を使用し内装の木質化を取り入れており、木材利用の重要性について認識しているところである。

## 本文に掲載した 記事以外の質問

### ◆蓬澤博議員

○自治振興会と行政の関係について

(1)自治振興会と住民懇談会との位置付け、関わり方は

○商店街の活性化について

(1)商店街の活性化、にぎわいの創出について、その具体策は

○少子高齢化対策について

(1)高齢者対策に対する基本方針とその対策をどのように考えているのか

(2)既存施設の有効な利活用について

(3)児童医療費助成の財源について

○下水道事業について

(1)22年度末までの下水道整備計画の内容は

(2)現在において、供用可能世帯数と、実際に供用している世帯数はどうなっているのか

(3)下水道事業の完結年度は。その事業規模、そのための起債総額はどうかになっているのか。また、償還のピークはいつ頃か

(4)施設の更新費用について、その想定額と捻出方法

### ◆長崎智子議員

○あさひ総合病院の経営と運営について

(1)あさひ総合病院の平成21年度決算と収支バランス達成に向けての経営管理目標、経営改善に向けた今後の経営戦略について

○あさひヒスイ海岸パークゴルフ場設置について

(1)あさひヒスイ海岸パークゴルフ場の規模等の概要について  
(2)あさひヒスイ海岸パークゴルフ場設置、開設にかかる現況について

### ◆稲村功議員

○あさひ総合病院について

(1)多剤耐性菌について

○農業問題について

(1)米戸別補償モデル事業について  
(2)つなぎ融資、借入金返済について

(3)価格保障制度の導入について

○公共バスの充実について

(1)安心・安全な暮らしについて  
(1)消防庁舎及び防災拠点施設としての今後の課題について

(2)あさひ総合病院の経営状況等について

○農業について

(1)ハトムギ栽培実証事業について  
(2)地産地消について

◆西岡良則議員

○町の活性化対策について

(1)観光資源の有効活用と交流人口の拡大について

◆加藤好進議員

○地域の活性化について

(1)交流人口の拡大について  
(2)町屋空き家の有効活用について

◆水間秀雄議員

○あさひ総合病院の駐車場等の改善について

(1)除雪対策について  
(1)住民要望について  
(1)子宮頸がん予防ワクチン接種助成事業について

## 町民の要望について

笹原靖直

### 質問

①町長選における街宣活動の経過から、五箇庄小学校校区の住民は、町長が変われば学校は存続し、校舎も立つような思いが生じ、それゆえ住民間の温度差が一段と開き、今まで以上に住民合意が難しくなっていると感じるが。

②成人式を暦どおり成人の日に開催してきたことをどう考えているか。今後、どう対応していくのか。

### 答弁 町長

①去る9月2日に、五箇庄小学校PTAから、改築についての嘆願書が出され、「町民全体の合意が必要である」と申し上げた。そして、「町長として住民合意形成について努力する。地域の皆さんもそのような働きかけをお願いしたい。議会に対する請願や、五箇庄地区以外の自治振興会、PTAなどに幅広く働きかける努力をお願いしたい」と申し添えた。

そのような中で、住民の合意形成がなされると考えおり、今までの考え方や方向に縛られることなく、改めて町全体の教育環境のあ

り方について議論をしていく必要がある。できるだけ早く教育委員会で検討してもらいたいと考えている。

### 再質問

2校案が望ましいと当局は考えていたと思うが、町長自身はどのように考えているのか。

### 再答弁 町長

11月までに全地区の住民懇談会が終わる。五箇庄地区以外の地区懇談会においても意見をいただき、私の考えも述べなければいけないと考えている。

議員のときは、地域・住民の声を行政に反映させるために議会を取り上げるといふ姿勢であった。

町民全体の合意形成を得たうえで行動することが、町民に責任ある町長としての姿勢だと考えており、まず住民懇談会の中で、皆さんからの声を聞きながら自分の考えも述べていきたい。

### 再々質問

五箇庄地区の住民は、どんな形であれ早く対処してほしいという思いで、町長が自分はこのと考えているというメッセージが

伝わってこないのは、ちよつとおかしいと感じる。今、町長の真意を聞かせていただきたい。

### 再々答弁 町長

リーダーシップの発揮の仕方が間違っている、思うように町政を行えばいいという方もいるのも事実だと思う。

町民の考えを重視することは私の政治姿勢であり、自分の考えを現時点で押しつけるつもりはないし、新しく選ばれる教育長のもと教育委員会で検討していただくわけで、9月議会において、具体的なことを言うのが正しいことかどうかと考えている。

### 答弁 大村教育長職務代理人

②6月議会で、成人式の開催日は、平成23年の成人者で構成される運営委員会を早急に組織し、一人でも多く参加しやすい日を決めようという答弁した。

18名が運営委員を引き受けてくれることになり、第1回運営委員会は、勤務や学校の合宿、実習などの理由から6名で会議が行われた。県外学生の帰省にも考慮し、

日曜日という意見や、既に美容院などへの予約が済んでおり変更できないため、月曜日の開催でという意見などがあり、結論は月曜日を希望するという事になった。

このような意見を参考に、協議

を行った結論として、平成23年は、月曜日に開催することに決定し、9月3日に成人者に案内をしたところである。

平成24年以降の開催日については、年内に平成24年成人予定者と現在の高校3年生、中学3年生にアンケートを実施し、その結果をもとに決定していきたい。

### 再々質問

約40名に電話での聞き取り調査をした結果、75%が日曜日を要望している。

来年の1月までには十二分に時間があると思うが、今からでもアンケートがとれる、新成人全員にアンケートをとることが一番フェアな形ではないかと考える

### 再々答弁 町長

これをまた変更することは一層混乱を広げることも考えられるし、これから美容院等の予約ができるのか心配であり、来年は従来と同じ延長線でやらせていただきたい。

### 再々質問

美容院の問題は、日曜日の午後からやれば対応できるという観点で、もう一度検討できないか。

### 再々答弁 町長

担当部署とも検討しながら、何らかの形でもう一度、教育委員会で議論をしていただく。今は議員の要望であり、真摯に受けとめたい。

## 町の活性化対策について

西岡 良 則

### 質問

活気と希望に満ちたまちづくりには、人口の減少傾向に歯止めをかけることが最重要課題と思うが、町長の考えは。

### 答弁 小杉秘書政策室長

少子化の背景には、仕事と子育てを両立できる環境整備のおくれや女性の社会進出・高学歴化、結婚・出産に対する価値観の変化、子育てに対する不安感の増大などが考えられる。当町の出生数は、平成14年度以降、毎年100人を下回っており、平成21年度は74人という状況である。

少子化以外の要因としては、若者が都市部へ流出したままＵターンしないこと、町内及び周辺に雇用場が不足していることなどが考えられる。

少子化・人口減少対策には即効性のある特効薬がないのが現状であるが、朝日町に住んでよかったという安心感を実感できる施策が必要であり、住宅取得・転入奨励金制度等の定住サポート事業や、

雇用創出・企業立地奨励事業補助など雇用機会創出の取り組みを行っている。

子どもを安心して生み育てられる環境の整備としては、すこやか誕生券支給事業、乳幼児・児童医療費助成事業、保育料の減免、不妊治療費助成事業などを行っており、これらの施策が有機的・複合的につながった取組みになることが大切で、一步一步着実な事業の実施が少子高齢化対策、人口減少対策につながるものと考えている。

### 再質問

よこお団地は44区画中26区画が残っているが、どのような方策を考えているのか。

### 再答弁 小川建設課長

販売価格は1区画70〜80坪で、約600万円であるが、4人家族がＵターンすると、約200万円の奨励金を定住サポート事業で支給する。

### 再々質問

もっと奨励金の宣伝をしていたきたい。車社会で、家庭に最低2台の車があり、大体100坪が望まれている、2区画をま

とめて売るという考えはあるか。

### 再々答弁 小川建設課長

試案はあるが、もう少し詰めさせていたきたい。

## あさひ総合病院の

### 管理運営について

### 質問

①多剤耐性菌による大規模な院内感染や、「スーパー耐性菌」とも呼ばれるNDM-1が国内で検出されているが、どのような対策を講じているか。

②待ち時間を短縮して患者の満足度を高めることは、医療機関が勝ち残るための必要不可欠な条件だが、どのようにして待ち時間の短縮を図っているのか。

### 答弁 山崎あさひ総合病院事務部長

①MRSA黄色ブドウ球菌、緑膿菌、セラチア菌等の感染症を起こす代表的な菌について、医師の判断の上で検査を行っており、毎月開催する院内感染症対策委員会での院内の感染状況について報告を行っている。

万が一、院内感染が発生した場合は、外部への迅速な報告はもちろん、必要に応じて、患者の隔離・感染経路の遮断・感染拡大の調査等を行う体制をマニュアル化している。

院内感染予防策、感染拡大の防止策は、医療器械や設備の消毒、関係職員の消毒や手洗いなど、徹底した衛生管理が基本であり、これまで以上に危機管理意識を念頭に置き、職員一丸となって院内感染防止に努めていきたい。

②外来診療は、再診では予約制を取り入れるなど、できるだけ適正な時間内での診療を心がけている。医師不足と、医師1人が診療できる患者数にも限りがあることなどから、患者には長い待ち時間を強いており、迷惑をかけている。

9月から内科常勤医師のカルテ入力を補助する医療クラウドを2名配置し、また、これまで医師が手書きしていた診断書について、診断書作成ソフトを導入し、8月中旬から運用を始めた。

医師の負担軽減策を講じることにより、診療に集中できる環境を整備し、待ち時間の短縮にもつながるものと考えている。

まずは内科など不足している常勤医師の確保に向けて取り組むとともに、現在勤務している医師が診療しやすい、疲弊しない環境づくりに向け、各種方策を展開してまいりたいと考えている。

## 子育て支援について

加藤 好進

### 質問

①安心して子どもを出産し育児のできる環境が求められているが、病児保育の取り組みについてどう考えているか。

②子宮頸がん予防ワクチンの認可は朗報だが、接種年齢や費用など課題もある。女性の健康を守るため、ワクチン接種の公費助成について尋ねる。

### 答弁 町長

①病気やけがをした病児やその回復期にある病後児を家庭の都合により一時的に預かる病児・病後児保育については、昨今の核家族化や晩婚化などによって祖父母の協力が得られないケースも増えつつあることから、その必要性を認識している。

病児・病後児保育を実施するにあたり、保育士のほかに看護師などの配置や緊急時における医師との協力体制、新たに保育室や隔離機能を持つ安静室などが必要となることから、今後、研究していきたい。

②子宮頸がんの発症に関しては、

そのほとんどがヒトパピローマウイルスの感染によるものであり、10歳代前半にワクチン接種をすることで大きな予防効果があると考えられている。

接種費用は1人あたり3回接種で約5万円と高額であり、厚生労働省は、公費による接種事業を実施する市町村に対して、費用の一部を助成する予算を来年度の概算要求に盛り込んでいる。

町としては、今後、国等の動向を踏まえながら新年度からワクチン接種にかかる公費助成について具体的な対応を検討したい。

## 安心・安全な暮らしについて

### 質問

多くの観光客が訪れる朝日ヒスイ海岸だが、ここ数年急減に瘦やせ、高波の被害もある。浸食対策の進捗状況を尋ねる。

### 答弁 小川建設課長

ヒスイ海岸を含む下新川海岸は日本有数の浸食海岸で、国・県が浸食対策を



本年度完成予定の宮崎漁港沖防波堤

進めてきており、平成20年2月に高波の被害を受けた堤防等は、平成21年末には復旧工事が完了し、新たな被害防止対策工事が平成21年度事業として施工された。

今後県では、未整備区間の大谷川河口部に向かって海岸浸食対策事業を進めた後、宮崎海岸へと同事業を進める予定と聞いている。

宮崎漁港においても、沖防波堤工事が進められており、本年度で工事完成の予定である。

また、予防対策として、高波のメカニズムのさらなる解明や、定点カメラによって高波・高潮等沿岸の映像情報をリアルタイムに監視するCCTVシステムの整備が平成22年度事業として施行され、本年末には境海岸に2基、朝日海岸に1基設置される予定である。



CCTV定点カメラ設置箇所（大谷川河口付近）

本年7月の県への要望において、宮崎漁港へのCCTV設置を要望したところであり、今後とも海岸域の浸食対策事業を促進し、住民の命や財産を守るため、引き続き国・県に対して強く要望していく。

### 再質問

宮崎海岸堤防の越波工の堆砂など、管理方法はどのようなになっているのか。

### 再答弁 小川建設課長

宮崎海岸については、ヒスイ海岸一帯の環境整備事業の中で、越波工の中の砂や草等々の除去を現在もしており、引き続き、国・県に対して毎年要望していく。

## 防火水槽の設置について

水間 秀雄

**質問**

08年、09年の住宅密集地での火災では、河川の水不足、消火栓の不具合により消火に手間取ったが、住宅密集地における防火水槽の設置を急ぐべきと思うが。また、消防法により、地元負担なしで、町の責任で設置すべき。

**答弁 町長**

昭和40年代より泊地区を中心に打ち込み式消火栓を整備し、火災時には用水も含めて消火活動を行っているが、近年は農閑期及び用水工事に伴う断減水、地下水位の低下による打ち込み式消火栓の揚水量の減少等、消火活動時の水利確保は早急に取り組む課題と考えている。

このような状況にかんがみ、平成22年3月に水槽の積載容量を増大した消防ポンプ自動車を配備し、消火体制の強化を図っているとこ

ろである。  
現在、防火水槽の整備には、受益町内から用地の提供及び設置工事費の15%の負担をお願いしている。

しかしながら、高齢者だけの家庭の多い町内などでは、工事費の負担が過重となり、防火水槽整備が促進されていない要因の一つと考えられ、地元負担を規定している整備要領の見直しを検討したい。

**再質問**

住宅密集地には高齢者が増え、年金暮らしであり、町内会からの負担金の捻出は難しく、話がまとまらない。町の責任で無料という町民の意見である。

**再答弁**

消防本部総務課長  
防火水槽の整備を他省庁の補助事業で行い、15%の地元負担をお願いしてきた経過があり、現在に至っている。過去に定めた整備要領を今後見直す検討をしたい。

## あさひ総合病院の

## 駐車場等の改善について

**質問**

病院の出入口が狭く、危険・不安という声がある。駐車場の出入口、場内の車の流れや駐車箇所がわかりやすいように改良・

工夫を求める要望があるが。

**答弁 山崎あさひ総合病院事務部長**

駐車場の出入口を西側に設け、町道泊桜町線と県道入善朝日線の交差点を十字路にする案も検討したが、取り壊し前の状態は、十字路をわずかにずらした形状で、それが逆に事故が少なかった結果であったことや、救急車の専用通路の確保のためには、西側救急玄関



あさひ総合病院の駐車場

への直線経路をつくる必要があった点等々、熟慮の末、東側の現在地に出入口を設置することとなった。それに伴い、駐車スペースの大きさ、数、植栽やバス停等の構築物の配置を決め、現在の形態となった。

運用開始から4年目を迎え、出入口が狭い、また駐車場が使いにくいという声が多数寄せられており、財政上の問題等もあるが、改善策を検討したい。

## 住民要望について

**質問**

中学3年生までの月千円以上の医療費の無料化をどのように検討しているか。

**答弁 大宮民生部長**

小学生の医療費助成については、県内に先がけ、平成18年度から町単事業として実施し、1ヶ月にかかった保険適用の医療費の千円を超えた分を町が全額を助成している。

また、ほかに0歳から小学校就学前までの乳児・幼児に対し、保険適用の医療費の全額を県と町で負担している。

中学生までの医療費助成の拡大については、平成23年度から千円を超えた分について全額を助成したいと考えている。

# 常任委員長報告

## 総務産業委員会

当委員会は、9月22日午前10時から及び24日午前10時から両日



朝日浄化センターの現地調査

開催、朝日浄化センター及びパークゴルフ場の現地調査を行い、議会から付託されました5認定案件及び3議案を慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ

原案のとおり認定・可決すべきものと決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望、意見がありました。

- 1 入札制度の見直しについては、町当局・議会が双方誠意をもって協議し、町のためにより良い制度として、成案をうるよ

う努められたい。

次に、請願の審査結果を申し上げます。今期定例会において、議会から付託されました新規の請願4件、「新たな経済対策を求める請願」、「地方分権に対応する地方議会の確立を求める請願」、「米価下落への緊急対策を求める請願」、「口蹄疫被害の復興支援と再発防止を求める請願」については、それぞれ願意妥当と認め、採択にすべきと決しました。

## 民生教育委員会

当委員会は、9月22日午前10時から及び24日午後1時から両日開催し、議会から付託されました6認定案件、4議案を慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり認定・可決すべきものと決しました。

なお、議案審査の過程において、次の要望、意見がありました。

- 1 全国的に医師・看護師不足の状況ではあるが、引き続き、あさひ総合病院の医師・看護師の確保に向けて鋭意努力さ

れたい。

次に、陳情の審査結果を申し上げます。今期定例会において、議会から付託されました新規の陳情1件、「歯科医療の充実を求める意見書」の議会採択にかかる陳情については、願意妥当と認め、採択にすべきものと決しました。

## 議長交際費を公開します

平成22年7月1日～9月30日

| 項目        | 件数 | 支出金額(円) |
|-----------|----|---------|
| 祝儀・寸志     | 5  | 43,280  |
| 香典・生花・見舞  | 1  | 10,000  |
| 土産・贈答     |    |         |
| 負担金・会費    | 1  | 10,000  |
| 懇談会       |    |         |
| 餞別・激励・協賛金 |    |         |
| その他       | 1  | 3,351   |
| 合計        | 8  | 66,631  |

# 議会日誌

## 七月

- 1日 本会議（代表・一般質問）
- 2日 民生教育常任委員会
- 5日 県町村議会議長会臨時総会  
議会運営委員会  
総務産業常任委員会  
民生教育常任委員会  
議会運営委員会
- 7日 本会議（委員長報告・討論・採決）  
朝日滑川間国道バイパス建設促進期成同盟会総会（魚津市）  
東部山麓道路建設促進期成同盟会総会（魚津市）  
新川中部地区基幹農道整備事業促進協議会総会（黒部市）  
朝日・魚津間林道建設促進協議会総会（魚津市）  
全国森林環境税創設促進議員連盟理事会・総会（和歌山県・田辺市）  
新川地域推進協議会（黒部市）  
水博物館構想推進協議会（黒部市）  
日本海・関東首都圏連絡道路建設構想推進会議総会（黒部市）



日本海・関東首都圏連絡道路建設構想推進会議総会

- 20日 富山県日韓友好議員連盟理事会・総会（富山市）
- 22日 主要地方道黒部朝日公園線改良促進期成同盟会総会（入善町）  
主要地方道朝日宇奈月線改良促進期成同盟会総会（入善町）  
舟川総合開発促進期成同盟会総会（入善町）  
朝日町・国県要望行動（富山市ほか）
- 23日 路建設構想推進会議総会（黒部市）  
下新川海岸整備促進議員連盟総会（黒部市）

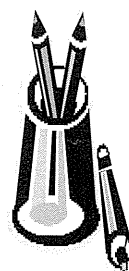
## 八月

- 26日 東部土木振興会総会（入善町）  
黒部川治水同盟会総会（入善町）  
議会だより編集委員会
- 12日 議会運営委員会  
第3回議会臨時会  
議員協議会  
日中友好富山県地方議員連盟理事会・総会（富山市）  
議員協議会  
第4回議会臨時会
- 30日 新川地域推進協議会県要望（富山市）
- 31日 新川地域推進協議会県要望（富山市）

## 九月

- 2日 議会運営委員会  
議会運営委員会  
第5回議会定例会本会議（提案理由説明・質疑）  
全員協議会
- 9日 議会運営委員会  
第5回議会定例会本会議（提案理由説明・質疑）  
全員協議会
- 14日 議会運営委員会  
第5回議会定例会本会議（提案理由説明・質疑）  
全員協議会
- 15日 議会運営委員会  
第5回議会定例会本会議（提案理由説明・質疑）  
全員協議会
- 21日 本会議（代表・一般質問）  
総務産業常任委員会  
民生教育常任委員会  
総務産業常任委員会  
民生教育常任委員会  
総務産業常任委員会  
民生教育常任委員会  
議員協議会
- 22日 本会議（代表・一般質問）  
総務産業常任委員会  
民生教育常任委員会  
総務産業常任委員会  
民生教育常任委員会  
総務産業常任委員会  
民生教育常任委員会  
議員協議会
- 24日 本会議（代表・一般質問）  
総務産業常任委員会  
民生教育常任委員会  
総務産業常任委員会  
民生教育常任委員会  
総務産業常任委員会  
民生教育常任委員会  
議員協議会
- 27日 本会議（委員長報告・討論・採決）

## 編集後記



今夏は記録的な暑さの中で、改選による議員選挙が行われ、新人4名を含む10名が町民の方々の信任を得て議員となり、8月29日よりスタートしました。9月議会では新人議員4名全員が一般質問され、新しい風が吹きこまれました。6月13日より首長になられた脇町長と議会には共に町民の負託に応えるべく、今議会では是々非々の立場で議論がなされたことは、町政に必ず反映するものと思っております。

今後皆様方にはCATVや議会だよりを見て、読んでいただき、色々な声を聞かせていただければ幸いです。

10名の議員が丸となって元気な朝日町を目指し頑張りますので、ご支援、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

### ◇議会だより編集委員

水島 一友 大森 憲平  
蓬澤 博 長崎 智子  
稲村 功